



2024年度
実施効果報告レポート

【事業者名】

東成瀬テックソリューションズ株式会社

【サービス名】

①過疎地学校におけるDX支援プログラム [オプション：過疎地学校における先端機器・技術活用サポート]

【支援項目】

①授業、授業準備、成績処理

なると



2025年1月

東成瀬テックソリューションズ株式会社は、過疎地域の学校へ先端機器の活用やプログラミング、キャリア教育に関する授業支援を行いました

背景	人口減少や人手不足に直面している過疎地域の学校では、校内だけで先端機器活用やプログラミング教育、地域課題をベースとしたキャリア教育に対応することが難しい状況にある
目的	学校教育に先端技術や外部リソースを活用した教育体制を構築し、教職員の業務負担を軽減するとともに、質の高い授業の実施や地域課題の解決を通じて、都市部との教育格差是正へ量的・質的に貢献する
概要	各学校のニーズに合わせた教育プログラムの構築そのものの支援から、先端機器の活用や授業の現地サポートなどの具体的な支援まで、学校教育活動を包括的に支援する

本サービスは、学校教育の発展に貢献するための3つの特長を有しています

本物体験の提供



久富望氏（京都大学教育学研究科）と連携し、先端機器の活用・プログラミング学習を含む教育学による裏付けがある探究活動の支援や、弊社コンサルタントによる地域課題をテーマとしたキャリア教育を提供いたします。

アウトソーシング型



私たちは、各学校の教育目標やカリキュラムに基づいた教育プログラムを作成いたします。さらに、学校現場の人材や環境などに合わせた支援を通じ、授業実施まで丁寧にサポートいたします。

現地支援



授業時には、地方創生を進める弊社のエンジニアやコンサルタントなどの専門人材が直接サポートし、児童・生徒が内容をより深く理解できるよう支援いたします。

4校、811名の児童・生徒に弊社のサービスを活用いただき、本補助事業を実施いたしました

No.	学校設置者名	学校名
1	東成瀬村教育委員会	東成瀬村立東成瀬小学校
2		東成瀬村立東成瀬中学校
3	秋田県教育委員会	秋田県立横手城南高等学校
4		秋田県立湯沢高等学校

事例1 地域課題をベースとしたPBL（課題解決型学習）を実施、サポートいたしました



小学校教員

地域と連携した学習を進めたい一方で、授業で扱う地域課題の選定や住民との調整に十分なリソースを割けない

1. 東成瀬小学校にてキャリア教育を17コマ実施

- ・先生の意向や児童の興味・関心をヒアリングした上で授業を設計
- ・「東成瀬村を豊かにする」をテーマに、村の課題と解決案を児童が論理的に考え、村内イベントにて発表
- ・児童自身が興味を持つ分野について深く学び、主体的に行動する力を育成

2. 横手城南高等学校、湯沢高等学校にて地域課題をテーマにした探究授業のサポートを23コマ実施 ※

- ・生徒が深く探究できるよう、仮説やテーマに対する問いかけや考え方の例を提示し学びを促進
- ・生徒の探求心や思考力を深め、課題解決能力や主体性を促進

※1コマあたり1学年（100-150人）を対象に支援を実施。



事例2 データサイエンスを含む地域密着型プログラミング教育を実施いたしました



中学校教員

プログラミング知識の不足による教え方への不安や教材研究に割くリソース不足から授業への導入が難しい

1.東成瀬小学校にてプログラミング授業を18コマ実施

- ・ViscuitやScratchを活用したプログラミング
- ・久富氏（京都大学教育学研究科）によるPythonを用いたデータサイエンス教材（内閣府SIPのプロジェクトで開発）を用い、東成瀬村の特徴を児童たちが対話的に考察する授業の開発・実質を支援
- ・データ活用技術や知識を実践的に習得

2.東成瀬中学校にてプログラミング授業を4コマ実施

- ・先生の意向や生徒の興味・関心をヒアリングした上で授業を設計
- ・Scratchを活用し、「より住みやすい村」をテーマに、地域課題解決に役立つアプリや生徒自身が作りたいゲームを作成
- ・作成を通じて、基礎的なプログラミング知識を習得



事例3 VRゴーグル、ドローン、3Dプリンタなどの先端機器を活用したワークショップを実施いたしました



先端機器があるものの使い方や活用法を指導することができないことに加え、授業中の操作サポート体制も不足している

高校教員

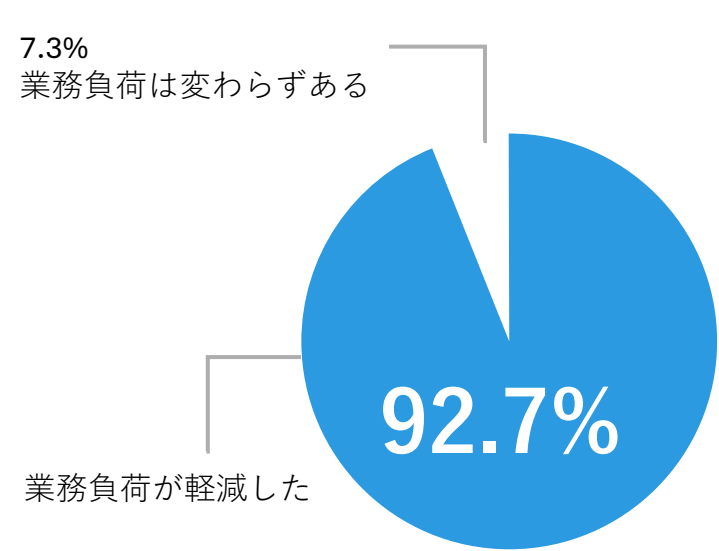
横手城南高等学校、湯沢高等学校にて、日常的な教師・生徒の支援や先端機器活用・デジタル探究の授業サポートを44コマ実施 ※

- ・先端機器の活用事例を学ぶだけでなく、生徒が実際に操作することで機器への理解を深めることに加え、新たな活用方法を探求するワークショップを実施
- ・教師・生徒双方の、デジタル機器への困りごとを包括的にサポート
- ・生徒や先生が先端機器を効率的に使いこなせるよう、具体的な使用方法をまとめた資料を作成し、授業での活用をサポート
- ・技術を活用した新たな探究活動を促進するとともに、地域課題の解決に向けた具体的なアプローチを学ぶ機会を提供
- ・先端機器活用や課題解決を通じて主体性や応用力を育成

※ 1コマあたり1学年（100-150人）を対象に支援を実施。

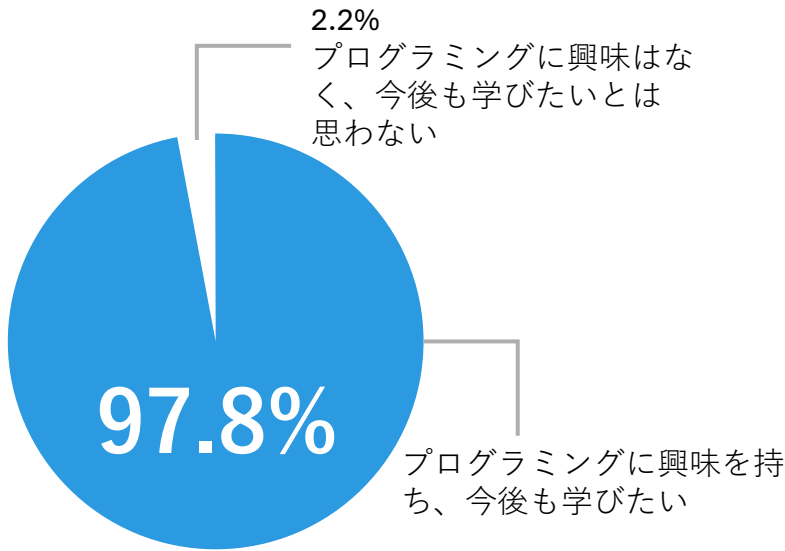


満足度の高いサービスを提供したことにより、児童・生徒の興味関心の幅を広げ、学校が課題としていた業務負担を軽減することができました



92.7%の先生方から「業務負担が軽減した」と回答いただき、「授業準備時間が1週間あたり1時間程度短縮した」とのお声もいただきました

※サービス実施校4校への満足度アンケート結果を基に集計



97.8%の児童・生徒から「プログラミングに興味を持ち、今後も学びたい」と回答いただきました

サービス導入に伴い、明らかになった3つの課題に対し解決策を講じ、来年度以降のサービス改善につなげます

課題	解決策
1 学校現場で実費負担が発生するとサービス導入のハードルが高い	価格設定のバリエーションを増やし、導入へのハードルを下げる
2 教職員が先端機器を長期的に活用できる仕組みが不足	教職員が自立して活用できるよう、体系的な仕組みを構築する
3 支援対象授業選定が進まず、支援者の負担が増大した結果、支援校や内容に制約が生じている	支援対象授業を絞り込み、学生や近隣企業と協力した包括的な支援体制を確立する

本サービスをご活用いただいた学校の生徒や教職員からは満足度の高いお声をいただくことができました



小学3年生

初めてのプログラミングだったけど、自分でもゲームを作ることが出来て楽しかった



小学校教員

授業準備にかかる時間が減り、業務負担が軽減しました



中学2年生

自分が想像していたものを、実際にプログラミングを通して作ることが出来て面白かった



中学校教員

教職員では対応できない専門的な内容で、生徒もすごく楽しんで学んでいました



高校2年生

自分のキャリアについて考えるきっかけとなり、将来の選択肢が広がった



高校教員

デジタルに精通している方に毎時間サポートいただき、とても助かりました

会社名	東成瀬テックソリューションズ株式会社 Higashinaruse Tech Solutions Co.,Ltd
代表	近藤純光
設立年	2021年
資本金	500万円
事業内容	1. ローカルデザイン事業 2. 技術支援事業
お問い合わせ	電話番号: 050-6876-3046 メールアドレス: info@narutech.co.jp